

第 3 回

新市まちづくり計画検討小委員会会議録

と き 平成 1 6 年 2 月 2 3 日

ところ 西脇市生涯学習まちづくりセンター

西脇市・黒田庄町合併協議会

第3回新市まちづくり計画検討小委員会会議次第

日時：平成16年2月23日（月）

時間：午後6時35分～9時01分

場所：西脇市生涯学習まちづくりセンター

1 開会

2 委員長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 議事

(1) 前回のワークショップの取りまとめについて

(2) 新市の基本理念と将来像について

(3) 新市の都市構造について

(4) 新市まちづくり計画（将来構想部分）の中間報告について

5 次回の議題等について（予定）

(1) 新市の将来像、基本方向について

(2) 新市まちづくり計画（将来構想部分）の中間報告について

6 その他

(1) 次回の開催日程

日時 平成16年3月 日（ ）

場所 西脇市生涯学習まちづくりセンター

(2) その他

7 閉会

出席名簿

【委員】

氏名	備考
長谷川 俊 雄	委員長
小 林 茂 夫	副委員長
浅 田 康 子	
岩 崎 貞 典	
宮 崎 正 則	
東 野 一 彦	
西 山 孝 彦	

【事務局等】

事務局 長	内 橋 敏 彦
事務局 長補佐	藤 原 俊 三
事務局 員	板 場 逸 史
コンサルタント	千 田 雅 明
”	前 田 直 之

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>事務局長</p>	<p>(開 会 午 後 6 時 3 5 分)</p> <p>定刻になりましたので始めたいと思います。お忙しいところ、夜分まことにありがとうございます。</p> <p>ただいまから、第3回のまちづくり検討小委員会を開催させていただきます。</p> <p>本日の会議でございますが、委員さん7名中、全員出席をいただいております。規定によりまして、成立をいたしておりますことをご報告申し上げたいと思います。</p> <p>本日の会議につきましては、1枚ものの資料を配布しております。ごらんいただきたいと思いますが、その中で、網かけをしております3章部分を中心にご協議いただきたいと思います。この2章部分の主要指標、これは、今8月頃に幹事会等も含めて調整をしておりますので、きょうは2章部分を省いていただきまして、3章部分を協議いただきたいと思います。</p> <p>また、前回に引き続きまして、きょうもコンサルさんをお願いしています。千田さんと前田さんにご出席をいただいております。よろしく願いをいたしたいと思います。</p> <p>それでは、さきに送付いたしました資料をごらんください。この中にあります会議次第に沿って進めさせていただきたいと思えます。</p> <p>それでは、会議の議長につきましては、規定に基づきまして、委員長に進めていただきたいと思います。長谷川委員長、よろしく願いいたしたいと思います。</p>
<p>長谷川委員長</p>	<p>どうも、皆さん、こんばんは。</p> <p>皆さん、大変お忙しい中、夜分、ご出席いただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>ここ数日は温かい日が続いておりましたので、気候はいいなと思っておりましたところ、急にまた寒くなりまして、そういう非</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
コンサルタント前田氏	<p>常に出にくい中、ご出席いただきましたこと、感謝申し上げます。</p> <p>せんだっての法定協では、ご承知のように、継続協議というような案件も出てまいりましたことについても、当然、十分な協議と合意は得ないかんわけですけれども、限られた時間、そういったことと、ホームページのほかの町の合併協議会なんかも、回数だけを比較しますと、非常に厳しいかなということ若干思うわけです。</p> <p>その中で、きょうも、いよいよ、我々のやっているこの小委員会も核心に入ってくるわけですけれども、何卒ひとつよろしく願いしたいと思います。</p> <p>それでは、引き続きまして、議事に入ります前に、会議録の署名委員の指名でございますけれども、本日の会議録署名委員は、西脇市の岩崎委員をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これより議事に入らせてもらいます。</p> <p>まず、会議次第の1番目でございますけれども、ワークショップの取りまとめについて、コンサルの方から説明をいただきます。</p> <p>ひとつよろしく願いしたいと思います。</p> <p>コンサルタントの前田と申します。</p> <p>前回、ご議論いただきましたワークショップの取りまとめについてご説明させていただきます。</p> <p>お手元の資料、右肩に四角い字で資料1と書いてあると思うんですけども、この中で、まちづくりのキーワードと、その次のもう1枚に、キャッチフレーズと表示しております。これは、前回、委員の皆様にも宿題シート、また、前回の委員会の際に、模造紙の上でご検討いただいたキーワードとキャッチフレーズをまとめたものでございます。</p> <p>主に、まちづくりのキーワードの方ですけれども、左の方に大</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>きく、こんな内容、テーマといいますか、そういった形でまとめさせていただいております。やはり多かったのが、すごく豊かな自然を誇りに思っているという部分から、自然であるとか環境、また、循環型の社会といったもの、もしくは有機農業、そういったものに対するコメントといいますか、キーワードが非常に多く出ました。</p> <p>その次の、下のところには、支え合いであったり、地域コミュニティ、自治、協働といったようなキーワードから、それから連想されるようなもののキーワードが多く出されています。</p> <p>その下には、やはり皆さんの健康、福祉、やはり高齢化社会等、また、健康に対する関心等も、今深まっていますので、そういったキーワード。</p> <p>そして、その次の下には、地域資源ですね。へそであるとか北はりま田園空間博物館であるとか、黒田庄和牛であるとか、そういったキーワードが出ております。</p> <p>その下に、人、心とあるんですけども、この辺は、やや抽象的な表現であるかと思うんですが、やはり心であるとか人といったものを大切にしていこうというようなところから、そういったキーワードが多く挙げられています。</p> <p>最後に、その他なんですけども、こちらも、やや抽象的なものが幾つかあるんですけども、この地域ならではの特徴を表現したキーワードが幾つか挙げられていると、こういったものが取り挙げられているというところでございます。</p> <p>そして、その次のページには、キャッチフレーズ、皆さんに考えていただいたフレーズですね、そういったものをまとめさせていただいております。やはり、先ほどのキーワードと一緒に見ていただくとよくわかるかと思うんですけども、出していただいたキーワードがところどころに散りばめられて、皆さん、似たようなことも考えてらっしゃると思うんですけども、それが表現とし</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>て、幾つか違う形になって出てきているということでございます。</p> <p>今回は、これらを踏まえまして、新市の将来像案というものを、ここ、出していただいたものから、我々の方で提案させていただいております。そこで、一つ提案させていただいているのは、心、豊かな人と自然豊かな加古川に育まれた北播磨の田園共生都市ということで、サブタイトルといったものもつけさせていただきます。</p> <p>ただこれは、皆様からいただいたキャッチフレーズの、できるだけエッセンスと申しますか、要所をできるだけ外さないように考えたものでして、また、これらを踏まえて、キーワードとキャッチフレーズ、一覧になったところで、また、やっぱりこういうフレーズはどうしても入れておきたいとか、この文章の方がいいんじゃないかということ、本日、この場でまた考えていただければということでございます。</p> <p>そして、その次なんですけれども、その次のページに、新市のまちづくりの基本理念、将来像についてという紙が置いてあるんですけれども、先に基本理念の方があったかと思うんですけれども、こちらの方、まちづくりの基本理念、自立した地域コミュニティと創造的な行政の協働によるまちづくりというものと、その下、思いやりとやさしさにあふれ、みんなが安心して暮らせるまちづくり、三つめが豊かな地域資源を活用し、まちの可能性を最大限に引き伸ばすまちづくりと。この理念のもとに、先ほどの、考えた将来像、一本のキャッチフレーズを考えていこうと。三角形の図の方があるかと思うんですけれども、将来像と理念というのは、やはり将来像はできるだけ一言で、インパクトもありつつ、一言でこの地域の将来を言いあらわせるような目標像と考えていただければいいと思います。</p> <p>しかし、理念というのは、やはりそれらを、将来像を実現するための柱となる考えであるということでご理解いただければと思</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>コンサル外千田氏</p>	<p>います。</p> <p>ですので、どちらもなければ、やはり新市を目指す方向として成り立つものではないと。将来像だけでは、やはり言葉が少ないので、説明し切れない部分を基本理念で補っていくといったような関係であると思いますので、その辺を、きょう、ご議論いただければと思っております。</p> <p>そしたら、少し補足なんですけども、今、新市のまちづくりの基本理念と将来像についてというページがありますけども、その上に、3行ほど書いておりまして、基本理念と将来像とは一体どういうことなのかということを書いております。一つは、これまで、現状ですとか関連計画とか、あるいは住民意向等に基づきまして、前回、主要課題というのを踏まえたかと思えます。その中で、たくさん主要課題見ましたけども、このあたりで、じゃあ、具体的に、まちとしてどんなことを一番重要視していくのかというのが基本理念というふうに考えていただければと思います。</p> <p>ですから、今回、基本理念として、やっぱりそう多く上げるのではなくて、これとこれは絶対大事だというものを三つに絞っております。一つは、やっぱりコミュニティと協働だろうというのがあります。</p> <p>それから、2番目に、安心とか安全ですね、防災とか健康福祉、全部含めて大事だと思います。</p> <p>それから、3番目に、地域資源が非常にたくさん自然もありますし、そういったものを最大限引き伸ばしたいなということで、特に、やはりこの地域、活力というのが重要だということで、安全、安心、住民も大事なんですけども、活力のあるまちにしていこうということです。この活力の中に、ここにはちょっと書いてないんですけど、自然とか、先ほど、キーワードにも循環とかとありましたので、少し循環というような、自然だけではなくて、お金も回っていく経済というようなものも、ちょっと取り込めら</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局員	<p>れればなという感じがしております。</p> <p>この理念が3本柱とこうあって、それを一言で、いろいろなキーワードを挙げますと、こういうような主要案になってきているということで、そういう位置づけになっているということでご理解いただければと思います。</p> <p>そうですね、主要課題、ちょっと前回の資料にもつけさせてもらったんですけども、実は、ちょっと修正しております、その内容だけちょっとお知らせしたいと思うんです。</p> <p>別冊でつけてます計画素案の方の43ページ、44ページ、45ページになるんですけども、こちらの方をごらんいただきたいんですけども、43ページの一番下、七つあると思うんですが、これが修正した主要課題になります。ちょっと違いを、前回との違いで言いますけども、その43ページの内容を詳しく書いたのが44ページと45ページになるんですけども、主に前回との違いで言います。前回の提示内容、1番目ですけども、少子超高齢化社会における安心、安全な都市の創造ということであったんですけども、今回、安心、安全な都市の創造ということで、少子超高齢化ということが始まっていくんですけども、それはもちろん重要であるんですけども、それとともに、今、日本の安全神話ですとか、防災や防犯に対する取り組みが重要なことになっていることから、少子高齢化に限らず、安心、安全な都市を創造していくことが重要であるという意味で、ある意味、広範囲な意味にさせていただくということで、初めの文言とらせていただきました。</p> <p>それから、2番目のことなんですけども、前は、快適な定住環境の整備ということで上げておりましたけども、今回は、快適な生活環境の整備、もちろん、定住促進には生活環境の整備ということが重要になってくるんですけども、特に、地域間格差、下水道等初め地域間格差がある基盤整備の状況があることから、定住だけに限らず、生活環境を整備していくことによって定住への</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>コンサルタント前田氏</p>	<p>魅力を高めていくというふうなことに主要課題を変えております。</p> <p>それから、3番目はそのままです。地域産業の振興と地域内の経済循環ということでちょっと文章を変えておりました、グローバル経済とは別に、地域内で経済の循環をさせるような仕組みを構築していくことで、産業、経済の活性化を図っていく必要について、よりちょっと踏み込んだ内容にしました。</p> <p>それから、4番目ですけども、これは全くなかったもので、教育分野というようなものに関する課題がちょっと抜けておるようには思いましたので、次世代を担う人づくり、文面はちょっと変えるかもしれませんが、同じように漢字で終わるよということになりませんが、次世代を担う人材の創出とかそういうような感じにさせていただきたいと思うんですけども、これは、住民活動、産業分野を初め、地域の活力を維持するためには、教育の充実を図ることで、地域の中でそういう人材を育成することが重要であると考えまして、主要課題として追加しました。</p> <p>それから、次、環境との共生と循環型社会の構築。これについては変更は特にありません。</p> <p>それから、次、協働による自治、ローカルガバナンスの実現ということなんですけども、これちょっと、前回、ローカルガバナンスの実現ということになっていたんですけども、タイトルを日本語にして、ローカルガバナンスを括弧書きに変更いたしました。</p> <p>それから、最後なんですけども、効果的な行財政運営ということであったんですけども、今回、効果的の前に効率的をつけまして、重点事業への集中投資などの効果的側面とともに、組織のスリム化など効率的な行政運営にも配慮していくことが必要であるとの考えから、そういう文言を追加しました。</p> <p>以上、前回との主要課題の加筆修正した内容でした。</p> <p>以上、この七つの課題を、主要課題を踏まえて、この中から、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>重点的にまちづくりとして何を重要視していこうかということで、この三つの柱わけをさせていただいたということです。</p> <p>この辺の一つの議論をいただくのと、それから、前、キャッチフレーズとかキーワード、概ねこういうことでよかったかなと思うんですが、またご意見いただければ。</p>
宮崎委員	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>今、前回のワークショップの取りまとめの説明と、それから、新市の基本理念と将来像についてということで説明を受けたわけですが、何かご質問なりございましたら、ひとつ、ぜひ活発にお願いしたいと思えますけども。</p>
長谷川委員長	<p>黒田庄町の宮崎ですけれども、前回、ワークショップで色々と、こちらの意見としては挙げさせていただいたんですけども、この前も、終わってからちょっと申し上げましたように、どうしても、このワークショップで話した、この小委員会のメンバーの私たちが、年齢層が限られてきとるもんですから、どうしても次代を担う青年層が、今の子育ての最中の中年層ですね。そのあたりの声が、ちょっとなかなか、この小委員会の場では、お母さんの声とか、また青年の声とかを取り入れられないことが多々あると思いますので、その辺は、くれぐれも、アンケート等の若年層の声も生かしていただけて、今後考えていただいたらなと思ってます。</p>
浅田委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにはございませんか。</p> <p>西脇市の浅田です。</p>
コンサルタント千田氏	<p>この将来像のキャッチコピーは、こういうものを、今から小委員会で、1案と2案と、まだ出てくるかもわからない案等を決定していくということですか。</p> <p>そうですね、最終的には決定したいんですけども、なかなか、多分決め切らないといいますが、時間もかかると思いますので、できれば、今回は、将来像はこういうようなイメージでつくられ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
浅田委員	<p>るんだなというのをちょっとご理解いただいて、また、次回も含めて、ある程度、何案かに絞られればなど。特に、1案、2案でいいのかということもありますし、また、いっぱいあるんではないかと思しますので、また、きょうも、ご意見を多分出していただけるんじゃないかなというふうに思っていますので、我々の方としては、できましたら、基本理念みたいなところは、しっかりとこういう主要課題を踏まえて、これだけはしっかりやりたいねというのを、まず、きょう、かっちりと決めていただいて、将来像は、こういうフレーズだから、これだけはこういうフレーズは入れたいねというところぐらいまで、ちょっと、きょう、ご意見をいただければ一番ありがたいかなと。</p> <p>ちょっと、先に、基本理念のあたり、これちょっと、この3本柱のような感じで、ちょっと細かい文言は別に置いて、こういうことではいけないかとか、あるいはこういう手法がいいんじゃないかというご議論をいただければなというふうに思います。</p> <p>自立した地域コミュニティと創造的な行政の協働によるまちづくりのところに、女性の登用をもう少し積極的に取り込むとか取り入れるとか、そういう言葉が入ればありがたいかなと思います。</p> <p>随分、西脇市も女性が参画、協働してるんですけども、そういう文言が一つ入ればありがたいかなとっております。</p>
小林副委員長	<p>西脇市の小林ですけど、ちょうど、22日の日経新聞が、こういう将来像というみたいな感じのものが載っておりまして、要約しますと、地域の住民力という言葉で締めてあったと思います。要は、住民が今からもっと動いていくというか、我々自体のことは我々が解決していくみたいなことが書いてあります。ここのほぼ1番に近いような内容が書いてあって、それで、そういうことを利用して、行財政改革、小さな市を目指すんだと。市といいですか、市役所の組織ですね、そういうことを目指すんだというようなことが書いてありましたけど、ほぼこういうところにまとめ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>てあることはなっていたと思います、方向性としては。これはこれで、ある程度こういうことで、方向性はいいんじゃないかなと思いますけども、ですから、基本理念としたらこんな感じなんでしょうかね。</p> <p>ただ、そりゃ、全国どこでも目指す方向性というのはそんなに変わるわけじゃないんですが、ちょっと特色が少ないのかなという気がせんでもないんですが。</p> <p>私も同じようなことを感じてるわけですけども、今後は、特に、やっぱり地域の住民ができることはやっぱり取り組んでいこうという、そういう話の中で、行政との協働ということについては、非常にひとつのウェイトというかポイントを置きたいですね。</p>
コサカタ千田氏	<p>今ご指摘ありましたように、先ほど、少子化対策で一つ言いましたけども、特色を持たせるとすると、事務局とも話したんですが、3番目のところ、地域資源がたくさんあるよと、キャッチフレーズにも出てきてますし、その中で、活力も大事だということ、それは、先ほど、経済も踏まえて、あるいは自然環境の循環ということも踏まえて、そういうようなちょっと書きぶりにすれば、少し、地域の特色みたいなものとか、あるいは活力と自然環境、両方言いあらわせるんじゃないかなというちょっと話があったわけですが、そのあたり、いかがでしょうか。</p>
小林副委員長	<p>それと、もう1点、そういうことで特色出してもらおうというのは、どこかで特色をもう少し出してほしいということがあるのと、もう1点は、今からの時代は、もちろんこういう行財政改革も必要なんですけども、やはり急速に進んでいる少子化と高齢化というのが、やっぱり今からの社会を決める根本じゃないかなというふうに思ってるんですけども、それについて、ある月刊誌見てましたら、堺屋太一さんなんですけど、少子化、少子化って言うんですけども、それを解決する方法はただ一つだと。つまり、余りそういうことを大きく取り上げて言うのではなくて、現在のお年寄</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>りが楽しい生活を送ると。つまり、お年寄りというのは、好縁社会、縁が好む社会と書いてありました。あるいは、いろんな地縁とかそういうような縁を大事にして、老人が輝くんだ、楽しい生活を送るんだと。そうすることによって、今、社会が、非常に将来が不安だということがあるんで、少子化というのが非常に進んでるんだけど、お年寄りが輝いていたら、若い人たちも、安心して子供たちを産んでも大丈夫だというようなことができるんだと。つまり、そういうふうな社会を目指さないと、今からの少子高齢化は解決しないんじゃないかなと。大変だ、大変だと、年金問題にしても何も大変だというようなことを言っているとだめで、そういうことを具体的に、お年寄り自体が示さないとだめなんじゃないかってなことを言っておりまして、私も非常に共感を覚えたんですけど、そういうふうな発想がもっと取り入れられて、やっぱりこの地域は、つまり年寄りも輝いてますよというふうにしたら、やっぱり安心して暮らせますという、具体的には見本を示してるわけですね。そういうふうな方向性にしないと、余り、若い人、少子化はこれ何とかしますということだけでは無理なんじゃないかなという議論がありましたんで、ちょっとそういう方向性も大事かなというふうに思います。</p>
東野委員	<p>黒田庄町の東野です。</p>
	<p>本なんかで出てました21世紀のキーワードは、環境と地域と農業と個性というような、4つのことが表現をされています。その中で、個性づくり、環境とか地域、農業、個性という、そういう、本当にキーワードと言っていいなという感じがするんですけども、個性づくりの、個性の光る、そういうような対策とかあるわけなんですけども。</p>
宮崎委員	<p>黒田庄町の宮崎ですけれども、基本理念の大枠自体は三つでええと思うんですけども、この三つの中に、ちょっと飛びますけど、主要課題の中で、先ほども事務局の方から言っていました</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
岩崎委員	<p>ように、次世代を担う人づくりというこの1項目を入れていただいた。これもすごく大切なことやと思うんです。</p> <p>この基本理念に関して、次世代の人に託すその人たちと協力し合ってやっていくような、今現在の、与えられた僕らの立場から見た目だけの内容のように思えるんですがね。ですから、次世代の人もこの理念の中に取り組みめるような、何らかの一言があってもええんやないかなと思うんですけども。人をはぐくむとか育てるやなしに、次世代の世代も主催者の一人として参画していけるような文言があったらいいんじゃないかなと思います。</p> <p>西脇市の岩崎ですが、今宮崎さんがおっしゃったこともよくわかるんですが、やはり今からのまちづくりというのは、若者が中心となってするまちづくり、私も、今、あるまちづくりの委員に参画してますけども、例えば、一番最後の、豊かな地域資源を活用し、まちの可能性を最大限に引き伸ばすまちづくりって、ただ漠然としとって、一体だれがどういうふうなまちづくりをやるのかなと言ったときに、今宮崎さんがおっしゃったように、やはりやるのは中年層以下の若い連中、そういったような人たちが参画をして、彼らが中心となって引っ張っていくと。そのことによって、例えば、お年寄りの住めるようなまちをつくるのは、お年寄りがつくるんじゃないしに、若者がお年寄りを引っ張っていくようなまちをイメージして、それをつくっていくような雰囲気づくりというのは、すべて若者がやっていかないかんのやないかと。お年寄りの住むまちをお年寄りがつくれるはずないわけやから、やっぱり若者というのは、確かに非常に大事なキーワードになるんじゃないかと思うんですけどね。</p> <p>今全国見ても、例えば、巣鴨というのは、おじいちゃん、おばあちゃんのまちですわね。逆に、アメ村なんていうのも、これは若者のまちですよ。我々が行っても若者みたいに入れませんが、でも、でも、それをすべてやってるのは、僕は、そもそも若い人た</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
小林副委員長	<p>ちが、そういうものの演出もそこでやってるんじゃないかと思うんで、やはり若者の参画というものをもっと導入したような言葉がちょっとどっかに入るといいですかね。</p> <p>それはおっしゃるとおりなんですよね。要は、我々、今までやってきた中で、若者の参画をいかにしたらできるかということで悩み悩んできて、結果としてはできなかったということですから、これは全国どこも一緒だと思うんですけど、要は、いかにそういう仕組みづくりができるかということやと思うんですね。</p> <p>今回もそうなんです。今宮崎さんがおっしゃってるように、そういう声をどうしたら取り入れられるかということからすればね、どういう手法があるのかということをやっぱり探らないと、ただ単に若者だけ呼んできてもね。本当に、呼んできて、はい、意見言いなさいでは、聞いたことにならないと思うんですけども、もっと自主的に動いてもらえるような土台をつくらないとね。</p> <p>まあ、時間との闘いをどこまでできるかということなんですけど、その辺はどうでしょうかね。</p>
宮崎委員	<p>それで、今ちょっとPTAの方から、青少年関係の方に携わるとるんですけども、僕ら大人が思つとる以上に、小学生から20代、幅広いですけど、その人らは、主体性はものすごい持っているんですよね。今、行政の受け皿があり過ぎて、受け皿何ぼつくっても人が集まってこないんですよね。その校区の子供たちとか青年たちを主催者に置いた場合に、ものすごいいろんな活発な意見とか簡単に出てきて、今、黒田庄町も、具体的に言いましたら、成人式は、成人になるその人らが企画・運営をして半年ぐらい前からずっと懸案してきて、それで、1部が成人式めいた式典ですわね。そして、2部は同窓会めいた形で取り組まれておる。そういう感じで、こちらが考えてあれやこれやするよりは、その年齢の人をもう主催者に上げて、取り組みをしていったら、僕らが思つとる以上に、もう立派な考えをしとる小・中・高生が多いんや</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
西山委員	<p>ないかと実感しとるんですね。ただ、今小林委員言われたように、それをいかに、どういう枠組みでフォローしていくかというのはものすごい大事なことだと思いますけど、可能なことではないかなと思います。</p> <p>この中で一番若いと思いますので、耳が痛い思いをして聞いてたんですけど、私も青年会議所の役を今務めてまして、私が10年近く前に入会させていただいたんですけど、今その人数が半分になってるんですね。本来ならば、この地域を一番引っ張っていかなくちゃいけないといいますが、青年の団体であると思うんですが、それが半分になっていると。何で半分になったかといいますが、もうほとんど、そんなんやっておれない、みな商売人ばかりですから、とてもそんな、人のためになんて考えてない、自分のことができないのに、人のことはできないというのが一番の理由なんですけど、皆さんが聞かれたらがっかりされるかもしれませんが、それが一番の理由で、私も一番頭が痛いところなんです。</p> <p>ひとつ、消防団、私もしていたんですけども、ほとんどの者が西脇で働いてない。昼間、火事で、私の在籍している所は、20人ほどいたんですけど、昼間の火事はゼロに近いんですね。何のための消防団か、頭が痛い思いであったんです。それだけ、若い人間が地元にはいないと。ゴーストタウンのようになっているというのはひしひしと感じております。それを何とかせないと、私は、青年会議所、消防団といろいろ話し合いをしているんですけど、今聞いてますと、小林委員の言われた、これは私らの甘えかもしれませんが、やっぱり年配のよき先輩方に引っ張ってってもらわなければならないと、まだまだこの辺の地域の若い方々を見ておりますと、引っ張っていく力がないんじゃないかなと。私が言うのも情けない話なんですけど、本当、どんどん、どんどん、ぱりぱり、まだまだ年配の方に引っ張っていただかないと難しいなということを感じて、本当、正直なところなんです。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
小林副委員長	<p>ただ、私らも、青年会議所活動にしましても一生懸命やっている以上、引っ張っていく覚悟ではあるんですが、やっぱり年配の方々にももっともっと引っ張っていただきたいと。これは甘えかもしれませんが、正直思っております。</p> <p>今、西山さんＪＣですから、いろんなことをやられていた中で、西山さん、今期からですかね。ＪＣさんがやられた中で、非常に若い人たちを対象にして、若い人たちに自主的に動いてもらって、ぶっちゃけトークとか、それから、青少年の、中学生の主張も何回かやられたりして。やっぱりそういう非常にいいことをやられてるんで、そういう機会をつくれればできると思うんですけどね。</p> <p>ただ、それは、さっき宮崎さんも言われたんだけど、ただ単に聞いてあげようという姿勢ではだめで、もう自主的にいかにいうことを保証した上でないと、そういうことはだめになると思うんですけどね。</p>
岩崎委員	<p>ただ、そういう仕組みを、取り組みをどうやってしていくんかということだと思うんですけど。たまたま、もしそういうことでどうしてもだめで、公式にだめなら、我々だけでという、何とか若い人たちに任せてますと。話し合いができるのかどうかね。</p> <p>それは可能やと思うんですよ。要は、私織物まつりも去年、浅田さんと一緒にやって、やっぱり高校生でも任したらやるんですよ。任さないからやらない。だから、責任をある程度持たせてしまったら、彼らはもうエネルギーが有り余ってるからね、やっぱりいろんな奇抜なアイデアを出してくれるんですよ。それが、どうしても、多分頼んでも無理やから我々でやるかというようなことで、我々がどうしても中心になってやってしまう。そうしたら、ちょっと年寄りじみたイベントになるということで。</p> <p>去年、おとしから、ちょっと若い藤原君ていうのを入れまして、そしたら、レーザービームショーというようなね、ああいうアイデアが出てきて、そしたら、若者の中でやってくれるんです</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
小林副委員長	<p>よね。だから、任すということも非常に大事やから、それを我々が中心になってやる時代はもう終わったんじゃないかなと思うんですよ。</p> <p>それはね、岩崎さんが本当に任したったからそうなんです。ただ、我々以上の世代はね、任す、任すと言いながら陰で見てやね、違った方向に行っていないかというて見てるんですよ。それは任せたことになれへん。そういう姿勢が見えてるから、こんなやっちゃってむだやと思て、だれも若い人たちが逃げ出していると私は思ってるんです。本当に任す姿勢でやってるんかと。</p> <p>ということで、今回、何かできますか。そういう一般論はちょっと置いといて。</p>
岩崎委員	<p>いわゆる基本理念に戻りますけれど、私、個人的には、この上の二つはもうこれで十分だと思うんですが、ちょっと3番目が、何かただ漠然としてて、ちょっとこう何か。</p>
コンサルタント千田氏	<p>そういう意味で、地域資源のところがですね、これは自然というものそれだけじゃなくて、人材という資源ですよ、材ですね。それを、うまく最大限引き伸ばすですかね、活動していただくという意味もこの中に含めてるんです。</p>
浅田委員	<p>それこそ、去年ね、50周年のときに、高校生を巻き込んでやるということで、もちろん岩崎さんも一緒にしたんですけどね、高校生はもちろんいい案も出すし、行動もするし、ただ、限定を高校生にしたんですけどね、高校生を集めて意見を聞いて、一つ事業を任せるということになったときに、高校生の、授業が終わってから、クラブが終わってから集めて、夜になりますわね。その最終責任をだれかが持たないことには、集めるという声をかけられへんねんね。たまたま、去年は、私のところで練習したり、いろいろ企画をしたもんだから、とにかく、男の子と女の子と一人ずつに責任を持たせて、全員帰ったら、全員うちへ、全員無事に帰りましたという連絡を必ずすること。それを徹底しましたので、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>男の子も女の子も、その子のところへ全員が連絡取り合って、その二人がうちへ、全員無事に帰りましたという連絡をするようにしたんですが、そういう責任の所在がないと、高校生というのは、まだまだ時間外に動いてもらうというのは、そういう制約があると思います。</p> <p>クラブ活動を皆してますしね、集まるのはどうしても5時半、6時になりますし、それ以後の話し合いやとか活動をしてもらおうと思ったら、その辺がちょっとネックになるのかなと。西高の子なんかは、黒田庄やら遠いとこの子が、加西の子もありました。送っていかんなん日もありましたしね、そういう準備万端整えんなんことも出てきて、それが可能なときに高校生も動かせるし、夜も頑張ってもらえるしということになるわけなんです。</p> <p>でも、それを去年はやり遂げましたので、できんことはないと思います。</p> <p>先ほどから、いろんなそういう若い人の力とか、新しい都市の力とかいう話が出てくるんですけど、この1番の、地域コミュニティと創造的な行政と協働の文言でね、今までは、どちらかという、行政が制度の枠組み作って、お皿つくって、ここへ来なさいよという、非常にそういう会が多かったわけですけども、1回目のとき、宮崎さんがおっしゃいましたように、岩崎さんがおっしゃったのかな、要するに、黒田庄地域の事務所を残しましょうという中に、ほかの旧の村の中にもそういったものは、建物がもう既にありますからね、そこへ、行政の、ある程度職員の方を置いて、それに、全く新しい形で、こういう行政との協働に取り組んできた。新しい提案が、逆に職員の方から出てきて、今言うような取り組みが展開されるんやったと思うんですけどね。</p> <p>それと、一番最後にちょっと気になったんは、豊かな地域のこの下の加古川に育まれたという、加古川の文字ですね。これ、黒田庄町にとったらまさにそのとおりなんですけど、例えば、基本</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
岩崎委員	<p>的に言うと、日野地区と芳田地区の方なんかやったらね、すんなりとしてもらえるかなという、ようなことを考えて。</p> <p>西脇市には、あと2本川があるんですよね。杉原川と野間川とというような感じでね。</p>
小林副委員長	<p>ただ、これ外したら、どこかわからなくなる。</p>
東野委員	<p>加古川、流域ということと、貫通しているならいいけど、加古川ってというのは加古川市があるし、そやから、加古川というこの文言がね。</p>
岩崎委員	<p>そやけど、それをやっぱり三つの、いわゆる加古川、175、JRというね。</p>
東野委員	<p>あえて加古川を使う必要があるかないかという思いもしますけどね。</p>
小林副委員長	<p>固有名詞、ここしか入ってないんですよ。基本理念ですから、こういうふうに入らなくてもいいかもしれませんが。</p>
ｺﾝサルﾀﾝﾄ千田氏	<p>1番、2番目ぐらいの位置づけは、3番目についても、先ほど言われたような、人材とか人づくりとか、若者に関しての話が、少しこの中に含まれていればということによろしいですか。</p>
宮崎委員	<p>今、ちょっとどうすればというのが続くあれですので。</p> <p>表に出た方がええんちゃうかと思うんですけども、この三つの大きいタイトルありましたね。この下の文面に、文言に入るやなしに。</p>
ｺﾝサルﾀﾝﾄ千田氏	<p>タイトルもそうですよね。</p>
宮崎委員	<p>三つ目のタイトルの中に、若者のことをね、ぽんと入った方がええんじゃないかなとは。</p>
事務局員	<p>千田さん、すみません。まちづくりの基本理念で、最後に、まちづくり、まちづくり、まちづくりで、どことも締めとんですか。</p>
ｺﾝサルﾀﾝﾄ千田氏	<p>すみません、これ、どちらかと言いますと、まちづくりの方向性を示しますので、協働によるまち、というぐらいに今しようかなとちょっと思っておるんですけど。</p>
事務局員	<p>いや、そういう意味でなしに、新しいまちをつくるという基本</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>理念なんですけれども、黒田庄町のいいとこ、西脇市のいいとこ、引き継いで新しいまちを改築していくということであれば、まちづくりよりももっとおもしろい文句があるんじゃないかな。例えば、まちをはぐくむとか育てるとか、つくるとか、そういう表現を入れることによって、他市のもいろいろおつくりになってると思いますけれども、どこともまちづくり締めくくっと思うんですけれども、ここの、何かそういうおもしろいというんですか、ああ、何かという、まちづくりといたらまちづくりでばかりでなりそうね、何使ってもね。何かそういう言葉がおもしろいものはないんですか。</p>
<p>コサカタ千田氏</p>	<p>そうですね、まちづくりは使わないで、もうこの文言だけでいってるところもありますけども。</p>
<p>事務局長</p>	<p>まちを育てるとかはぐくむとかね、そういう表現。</p>
<p>コサカタ千田氏</p>	<p>今、まちづくりもありますけど、まち育てとか。</p>
<p>事務局長</p>	<p>そうそう、そういう感じね。何かそういう感じの方がおもしろいんじゃないんですか。</p>
<p>小林副委員長</p>	<p>まちづくりの基本理念はこうだという結論、細部にいく場合にですね、まちづくりの検討委員会でも、どこを見てもまちづくり、まちづくりばかりです。</p>
<p>小林副委員長</p>	<p>まとめとしては、ちょっと今言われたような感じですね、確かに。</p>
<p>事務局長</p>	<p>特に、地域特性を今までのいいもんを残して、お互いが新しいまちをつくるというけども、古い部分を生かすという部分はこの地域多分にはありますので。</p>
<p>小林副委員長</p>	<p>そこで、この文章、全体にそうですけど、じゃあ、だれがどうするんだという問題になってきて、例えば、西脇市なんかは、市民憲章、若者の夢と希望を育てましょう、だれがどうするのかなという感じがするんですね。つまり、それはいいことなんだけど、若者を育てるのは大人がするんか、若者がね、頑張ってくれ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
岩崎委員	<p>るんかというような問題があったりして、それを、どういうふう に言葉として表すかというのは難しいと思うんです。</p>
事務局長	<p>今回、これ、合併になりますと、この市民憲章は当然なくなっ てしまうんでしょ、西脇市の。新しいのをまた考えないかんね。</p>
小林副委員長	<p>例えば、5周年記念のときとか10周年とかね。</p>
事務局長	<p>最初からならないんですか。</p>
コンサル千田氏	<p>そうですね。多分50周年記念のときと同じようにね、何か イベント、イベントでそういうものをつくっていきます。</p> <p>5年とか10年とかそういうときね。新市発足5年目とか10 年目とか式典がありますので。</p>
岩崎委員	<p>この市民憲章は、どちらかという、私たちは何々しますって いうのが多いんですよ。だから、主体的に私たちしますという 形のものを使っていけば。その中に、若者世代とともに何かをし ていくと、若者世代というか次世代、そういうフレーズを入れて いけば、大分変わってくるんじゃないかなと。</p>
事務局長	<p>今小林委員がおっしゃったように、夢と希望を育てましょう言 うたって、だれが育てんのやっちゅうような。突っ込んだら幾ら でも突っ込めるような文章なんですよ。いいことばかり、きれ いな言葉ばかりで。</p>
小林副委員長	<p>それは、西脇市民が、と。</p>
事務局長	<p>若者が言う場合や子ども会で言う場合、困るんですよ。子ども 会で市民憲章言う場合に。ちょっとピントがはずれてる。</p>
事務局長	<p>先ほど、コンサルさんの方から話あったんですけど、基本理念 というのは、将来像を補う、新しい市の柱になるものなので、 ある程度漠然としたものじゃないかと思うんです。それで、うち の局長からの方も話ありましたように、要は、こういう主要課題 があって、現状があって主要課題があって、どういうまちを目指 すんだという柱になるものになりますので、ちょっとある程度ば くっとしたものになるので、ここでまちづくりという言葉がいい</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>かどうかは別としまして、こういうまち、こういうまち、こういうまちということで3本上げてある中で、ちょっと先ほどもコンサルの方と相談しておったんですけども、初め、自立と協働で、ある意味まちというのは、創造してつくるの創ると、守っていくものと、高めて伸ばしていくものと、その三つがあると思うんです。その中で、創っていくものとして自立と協働というようなこと。それから、守っていくものとして、安全と安心、やさしさというようなもの、それから、高める、伸ばすというもので、これちょっと見直しの部分も入ってくるかと思うんですけど、人材とか自然とか循環とかいうもので、バランス、ある程度とれておるのではないかなと、事務局としては考えておるんですけども、その中で、今加古川とかそういう固有名詞とかについては、例えば、加古川水系にはぐくまれた豊かな自然環境とかいうことによって、杉原川も野間川も入ったような言葉にできたりするんじゃないかと思うんで、ある程度、守る、創る、高めるという部分で入っておったら、ばくっとしたもんですけども、新市につながっていくんではないかなと思ってるんですけども。</p>
小林副委員長	<p>ですから、全体の方向性としてはこういう方向で。もう少し文句といたしますか、もう少し新鮮な言葉が何かないかなと。</p>
宮崎委員	<p>もうほとんど、主要課題の中に上がってるものが的確に表へ出てますんでね、ただ、上がってないのが、次世代のという言葉じゃないかいなと。</p>
コンサルタント千田氏	<p>この辺、また少し加味しながら、検討させていただきます。</p>
長谷川委員長	<p>新市まちづくりの基本理念と将来像についてということに関しましては、このぐらいでいかがでしょうか。</p>
コンサルタント千田氏	<p>将来像案なんですけどね、これ、ここでは決めきれませんし、案だけのもんですから、しかも、よく皆さん、例えば、加古川が適してるか適してないかとかというのもありますし、それから、心とか人とか入ってますけど、この北播磨とかですね、広域では</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>サブタイトルに次世代も入ってますけども、これでいいのかとか、あるいは1案も2案も大体よく似てますんで、もっとこう斬新なアイデアが、こういう方向性があるんじゃないかと、この辺を少しご意見いただければなという。きょう、これに決めるということではできませんので、いけないと思いますので、こんな考えもあるんじゃないかという、ちょっとご意見いただければ。</p> <p>そういうふうに、今、質問うけましたけども、それについてひとつまたお願いしたいと思います。</p>
宮崎委員	<p>この文言に関しては、これからいろんな具体的になっていく中で、ええもんが上がってくると思うんですけど、よく使われる言葉で、次世代のことばかりになるんですけど、次世代につなぐという言葉がありますよね、やっぱり。これの、次世代につなぐやなしに、個人的には、次世代をつくるとか、何かそういう感じで、先ほど言うたように、次世代の人も、もう最初から巻き込むような文言もいいんじゃないかなと思います。</p>
岩崎委員	<p>JCがよく使っている、加杉野って言葉を入れると具合悪いんでしょうかね。</p>
西山委員	<p>1市4町から出てきた言葉だから、もともとは。</p>
岩崎委員	<p>一応、杉原川だと中町とか。</p>
浅田委員	<p>加杉野の説明からせなあかん。</p>
岩崎委員	<p>これはもう大分前から使っとるな。</p>
西山委員	<p>8年ぐらい使ってます。</p>
小林副委員長	<p>ちょっと、次に置いとった方がええかもしれませんね。</p>
岩崎委員	<p>問題あるかもわかりませんがね。野間川やったら八千代も通っとるし、杉原川は加美町やし。</p>
事務局長	<p>委員長すみません。勝手な考え方もわかりませんがねんけども、キャッチフレーズ、小委員会でもう少しようけ出していただいて、とりあえず協議会の中で、選考委員会みたいなものをつくるのも一つの方法だと思うんですね。協議会よりも、この小委員会で二つ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>ほどのものを出していただいでですね。</p> <p>名前はもう当然やってもうてませんので、とりあえずキャッチフレーズぐらい、一回、協議会の委員さんで投票してもらって、小委員会とはこうやと、いうのも一つの方法やと思いますので。</p> <p>小委員会の考え方としてはこんなの出てますよということをおらかじめお見せしといて、これに対してもっと提案くださいというてね。</p>
事務局長	それを委員長の方からやっていただいたら。
長谷川委員長	そうですね。
コンサル外千田氏	<p>先ほど、この2案以外にも、ここにずっとありますように、こんな、事務局・コンサル案とこういうのも少し考えてきてます。</p> <p>こういうのとちょっと違うんで、人と自然が融合する日本のへそ、共存、共生の西脇とか、こういうのをちょっと考えてみておりますので、いろんなまた違ったキャッチフレーズがありましたら。</p>
宮崎委員	<p>事務局長、これはあれですかね、前みたいに持って帰って、次回のときに提案さしてもらおうとか、そういう、次回に繰り越してのやつはできないんですかね。やっぱりきょうのがよろしいですかね。</p>
事務局長	<p>いえいえ、最終的には、まだ地域回りますし、住民説明会もしますので、5月ごろまでにキャッチフレーズを決めればいいんじゃないかと。今案のまま置いといて、二つほどおいておかないとしゃあないと思うんですけど。最終決めてしまわないといけないということはないと思います。ただ、小委員会としては、一つか二つか三つくらい絞っていただいたらありがたいと思います。</p>
宮崎委員	<p>前回していただいたような宿題ありましたやんか。特徴とか長所出して、ああいう感じで、キャッチフレーズとして、ちょっと時間かけて、個人で考えて、持ち寄る方が、意外と出やすいんじゃないですかね。</p>
事務局長	協議会でですか。ここで決めてくださいよ。

発言者	議題・発言内容・決定事項
宮崎委員	<p>ですから、ここでやなしに、次回までに宿題を、前出てましたやんか、ああいう感じで。ここでやったらなかなか、さっと意見出るんやったらええけど。</p>
事務局員	<p>基本理念つくってからつくるものですよね。</p>
コンサルタント千田氏	<p>基本的には、ある程度、こういうもんだということ念頭に置きながら、将来像をつくっていただくということ。</p>
事務局員	<p>逆に、次に、基本理念、きょうの話で提供いただけるんで、それで、固めてしまうことは、もう次の中間報告でその部分を固めてしまわないといけないと思うんです。その中で、出していただいとる中で、最終的に案幾つか絞っていただくことになるんですけど、きょうの話し合いも含めて、ちょっとええようなほか、キーワードがあればということで、コンサルの方は言われてるんですけど。</p>
事務局員	<p>きょう決めてしまうということではないんですね。</p>
コンサルタント千田氏	<p>例えば、今度、持ち帰って考えていただくに当たっても、こんなことのキャッチフレーズ入ってればいいなというのがあれば、話し合っていたければ。お互いに話し合うと、またいろんな意見出てくると思うんです。</p> <p>上の方は、既に手元にあって、前いろいろいただいた意見ですので。見ていただければ、また、こういうのもあると、こういうふうなのも考えられるとか、組み合わせがあるということも出てくるので。</p>
小林副委員長	<p>ここのキャッチフレーズでは、どっちかというと、将来像というより、今をあらわしてるような気がするんですがね。だから、将来もっとこういうふうになりたいという部分には、ちょっとこのキャッチフレーズはなっていないんじゃないかなというふうに思うんですがね、イメージ的に。今をあらわしてる。今はこういうまちですよというようになってるのかな。</p> <p>方向性としてはこれぐらいにしといて、次、ちょっとまたそれ、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
浅田委員	<p>もう少し考えますよね。方向性としてはこんな感じにしといて。</p> <p>もう1案の方は、これ2回出すと、全く違うようなもので、今この二つやと類似したものが多過ぎるので、ただ、私、個人的としたら、共生とか夢とか人とかという言葉が欲しいなとは思うんですけど。余り現実的なことじゃなくて、将来こんな都市になりましょうというような言葉が見つかったらいいのになと思うんですけど。もう一つほど、全く違う。</p>
小林副委員長	<p>一番下みたいな感じのものでしょ。</p>
宮崎委員	<p>最後、西脇ってついているものの方が雰囲気いいですね。</p>
小林副委員長	<p>そういうような感じでしょ、まあ言ってみれば。</p>
事務局員	<p>一応、事務局でもそういうのを配りまして、事務局の職員で、いろいろワークショップして考えたやつがあるので、ちょっと、まだまとまってないんです。結局はまとまってないんですけど、言葉としてこういうのがええんじゃないかということで、思いよったやつをちょっと言うてみたりしますので。</p> <p>将来像としては、二つのまちが新しい一つのまちになるってことから、新たなまちへのいきごみみたいなのが入ってたらいいなということで、あと、基本理念を踏まえまして、「自然が踊り、人が集い、まちがうたう生活交流都市」とかね。</p>
浅田委員	<p>自然が何ですって。</p>
事務局員	<p>「踊り、人が集い、まちがうたう」、「人が輝き、未来をつくる」、「人の心が温かい、緑の風とやさしさにあえる」、「心温まる協働のまち」、「人集う、心が和む、技光る、やさしさにあえるまち西脇」とかね。「人が輝き、未来を織りなす元気都市」とか、「人生き生き、自然きらきら、個性あふれる協働のまち」とか、これ、出せ、出せでいったもんでまとまってはないんですけど、あと、言葉としては、「いきいき」とか「きらきら」とか、織物にちなんで、「織りなす」があったんですけど、「染める」とか「共鳴」、「潤い」、「いざない」、「つなぐ」、「包まれる」、「めぐる」、「あふれる」、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>「安らぐ」、漢字で言いましたら「融合」、二つが合わさって、融けて合う、それから、「創生」、創る、生まれるの創生とか、「創出」、「共創」、共に創るで「共創」とか、「共鳴」とか「実感」とか、そういう言葉を入れてみたらどうだろうというような、これままとまってないんですけど、事務局としては。</p>
東野委員	<p>ここに上げてる、日本のへそ、豊かな自然とか、あとちょっと文化という言葉が欲しいと思うんですが、自然と文化が織りなす安心のまち、この辺もおもしろいですし、そういった感じのもの。</p>
宮崎委員	<p>事務局の方では一っと言うたったことにええ言葉ございましたね。</p>
岩崎委員	<p>例えば、環境づくりにもね、自然の融合するまち西脇とかも非常に好きなんですけども、例えば、環境づくりとかぱっと出したら、それに向かってきっちりやっついていかないかんからね、行政も我々も。ただ単に、言葉だけで環境づくり言うて、何もせなんだら意味がないわけですからね。やれることを言葉に出すということが僕は大事だと思いますよ。やれないようなただきれいな言葉だけ飾っておいてやね、何もせなんだら、そりゃいかんわけやから。環境づくりに力をばちっと西脇市は入れて、環境用語入れて考えますか、何かそういう言葉を入れて。例えば、環境とか文化、文化は昔からね、西脇も非常に文化に力が入ってますからね、これは現実に、文化は今取り組んでおられるわけですよ。もう1題、キャッチフレーズも文化工芸都市になってますから。</p>
宮崎委員	<p>1ヵ月前から、そのキャッチフレーズ一本の柱を決めて、取り組まなあかんですわね、これは。</p>
岩崎委員	<p>そうそう、その言葉をつくれれば、もうそれに邁進していかんと。今東野委員さんおっしゃってた文化とか融合とか何だとかというようなものが、ただミックスして。</p>
コンサル外千田氏	<p>基本理念の方でも、言われている方向性というのは一度あらわすので、どれかに特化して、これだというものを出してすると響</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>きやすいですね。</p> <p>これ、今、新しく事務局の方でアイデアいただいているのは、大体やっぱり人というのがキーワードで出されているのと、それからあと、2案は自然とか割と父性的なんですけども、とりあえず踊りとか集いとかうたわれるとか、わりと動的に活力のあるようなイメージがあるんです。それから、輝くとかってというような形で、やっぱり発信していくということですかね。こちらから、やっぱり自然の中に単にあるだけではなくて、人が輝いていこうと、元気になろうとかというような能動的あるいは発信的な活力ですかね、そういうのはちょっと感じられますので、そういう方向性も少しあるのかなという気が。先ほど言ったように、現状の地域じゃなくて、今後、新しいという意味が含まれてるんじゃないかなと思います。</p>
小林副委員長	<p>そういう方向性のは、ちょっと将来像をあらわしてるような気がしますね。</p>
コンサルタント千田氏	<p>理念等、人という話、それから、安全、安心の部分と、それからあと、活力とかそういうことですね。理念との整合性を持った将来像になってきます。</p>
岩崎委員	<p>難しい言葉を使わない方がいいですね。</p>
浅田委員	<p>小野や加西も、この間、新聞に載った、今ふうな言葉使いでしたよね。</p>
宮崎委員	<p>子供たちが作ったんですよ。</p>
浅田委員	<p>そうなんですか。</p>
コンサルタント千田氏	<p>あと、長いので、もっと短い言葉で端的に、それだけを言ってしまうというのも一つです。あと、サブタイトルもつけることもできますので。</p>
宮崎委員	<p>今、事務局が言われたの、これ、3月19日のときに、三つ、四つ、提案できるようにいうことですか。</p>
事務局長	<p>また、この議題の4にもあるんですけど、そこでお願いしよう</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p data-bbox="252 779 453 813">コソカト千田氏</p> <p data-bbox="252 898 453 931">小林副委員長</p>	<p data-bbox="480 315 1359 640">かな思たんですけど、とりあえず、もう一回、15日をお願いをして、この委員会で方向性を決めていただいて、そこで一つに絞らずに、次の協議会のときに提案をして、どういうふうに、決め方も協議会で決めていただく方がいいんじゃないかなと。委員長の方から報告願う方がいいんじゃないかなというような考え方を、この進め方の中で協議願おうかなと思ったんです。</p> <p data-bbox="480 663 1359 757">小委員会の委員さん方、一つずつ考えていただいたら、七つできますし。</p> <p data-bbox="480 779 1359 873">今ちょっとお話の中で出たような、一つ丸をつけたりとか、この中に張ったりとか。</p> <p data-bbox="480 896 1359 1686">すみません、ちょっと私の個人的な思いなんですけどね、このへそのまちというのは全国的には有名なんですけど、ただ、今言ってるへそのまちというのは、あくまで地形的なことだけ言ってみて、地理上の、緯度と経度が交差しているということだけ言ってるんですけど、私は、人が誕生するときのドラマで、へその緒でつながるということに非常にこだわってまして、へそのまちというのは、私、実は、さい帯血バンクというのを支援させていただいたことがあるんですけども、そのときに、いろいろ命の誕生のドラマというのを研究していくうちに、命の誕生というのは、親が一方的に命を与えるのではなくて、いわゆる受精卵が胎盤につながるときに、毛細血管、受精卵側からも出して、それから、母体からも毛細血管を出して、お互いに手を差し伸べて、初めて命がつながるんですよというようなことを、そういうのをドラマにしたいとずっと思ってるんですけども。</p> <p data-bbox="480 1709 1359 1975">そういう意味で、へそのまちというのを、もっと命を大切にするとか、そういうふうなイメージでへそのまちというのを変えたい。地形的なへそではなくて、もっと命を大切にするとことを基本に据えたいというようなことを、へそのまちを提案するときに必ず思ってるんです。まだできてませんが、そういうのを</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>何とか動画にして、命の誕生の母と子のドラマというのを全国展開したい、募集したいなど、提案を常に思ってるんですけど、そういう意味で、特色のあるまちづくりということになれば、やっぱりそういう、今からの世の中の命というのを大事にしたいというふうなことも、本当は、へそのまち、ただ単にというのではなくて、入れてほしいという思いがあります、個人的にはですね。</p> <p>ただ、へそという言葉自体が、今非常に卑わいなイメージがあったり、英語に直してネーブルというの、ちょっと何かそういう意味があるんだそうですけども、そういうことを、若い女の子たちが言えないと。第1回へそのまちサミットというのをしたときに、私も実は実行委員にならしていただいてたんですけども、そういうことがありまして、だから、へそ、へそって女の子が言えないんだというようなことがあって、そういうことではないですよ。もっと命の誕生するときには、本当に神秘的なドラマがありますよと。そういうことを、もっと西脇のまちから発信していきたいなというような思いでふだんはやってるんですけどね。タイトルとして非常に難しいかもしれませんが、何とかそういう、ちょっとほかと変わった、違った特色のあるまちづくりと、委員からそういうことも考えていただけたらなと思います。</p>
事務局員	<p>これ、逆に事務局からちょっと聞くんですけど、へそという言葉、西脇市の場合、特徴なんですけど、黒田庄町の方、これ一緒になることによって、へそのまちというのがどういう形で残っていくかは別なんですけど、抵抗はないですか。</p>
東野委員	<p>ないと思いますね。黒田庄にもモニュメントがありますしね。子午線が通ってるから。</p>
長谷川委員長	<p>ただ、今小林さんがおっしゃった、そういうところまでは発想がいかない。やっぱり地理的な、日本の中心的なイメージが強いですね、それをもしそのまま出すんやったら、何かちょっと工夫せなんだら。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
小林副委員長	いや、だから、もっとそのドラマをつくれれば、そういうことがもっと展開しやすくなるんですよ。
浅田委員	もう案をつくっていかならんとすればですよ、もっとどんどん、例題をつくっていかんなんですよ。私、いいなと思ったのは、「人いきいき、自然きらきら、個性あふれる協働のまち」というのが、「命いきいき、自然きらきら、共生のまち西脇」というような、何か今までにない、田園都市やとか、人いきいきかなと思ったけど、小林さんの話聞いて、ああ、命いきいきかなとか。
小林副委員長	えらい、早速に取り入れてもらって。
浅田委員	検討即実行です。柔軟性に富んでおりますので。「命いきいき、自然きらきら、共生のまち西脇」、人と自然が共生する。女性にとっても柔らかいイメージの。
小林副委員長	何とかのまち西脇というフレーズの方が何か新しい。何とか都市というよりは。
東野委員	人が輝き、集い未来をつくるとかを組み合わせたら、未来をつくるなんかいうのは。
西山委員	個人的な意見ですけども、消去法でいくのであれば、織物とか染めるとかというのはもう無理かな。すみません、織物に関係してらっしゃる人いらっしゃらないかな。別に嫌いなわけじゃないですけど、個人的にどうかなと思うんですけど。
岩崎委員	今さら何でやねんというのが。
浅田委員	できれば、「命」も平仮名の「いのち」の方が。
東野委員	そりゃそうでしょうね。
浅田委員	平仮名で「いのち」と書いたら、意味わかりにくいですかね。
岩崎委員	いきいきを書いてるんやろ、その間に。
浅田委員	漢字か片仮名にするかね。
宮崎委員	片仮名の方がね。
浅田委員	そのマークつけてね、びっくりマーク、自然きらきら、明るく、軽く。

発言者	議題・発言内容・決定事項
岩崎委員	今のその「命」をね、平仮名の方が受けるイメージがね。
浅田委員	平仮名にして、いきいき、片仮名にして。自然を漢字で、きらきら、片仮名。マークをつける。
小林副委員長	ただまあ、私、そういう説明すれば、命というふうに取り上げてもらってるけど、みんなは、いきなり何で命やねんということがあるかもしれませんね。つまり、そういうへその物語があれば、命というのを入れても。
宮崎委員	深い考えを、周りの方、持たれんでも、命いうのはやっぱり大事なものやと思ってる違いですか。
長谷川委員長	やっぱり、今の突発的に命、命という言葉、やっぱり元気とかそういうような感じしますんでね。
事務局員	これ、将来像の説明いうのは下につけるんですね、大体。
コンサルタント千田氏	そうですね、その意味みたいなものは。 ここに入れておりますけれども、ここに数行文章で入れますので、ここにその説明が入ります。ここから新しい物語をつくってという文言を入れていくということで。
小林副委員長	本当に、人が輝くということは大事なんで、そういう意味には書いてますんでね。新しいイメージがわきますね。こういうのよりは。
コンサルタント千田氏	大体こんなところでよろしいでしょうか。皆さんには、また書いていただいて、やっぱりこういうのもあるよというのを、また宿題みたいな形で、次回、お持ち寄りいただければなというふうに。今ちょっと、割といい案が出てきたような感じですけども、また、さらに、何案か出していただいて、またどっかで、選んでいただくような形になればと思いますけど。
東野委員	今私が言いました、まちの前に、共生とか感動とか何かそういう。
コンサルタント千田氏	感動のまちとか入れた方がいい。感動とか共生とか。 次回は、理念の方の修正をしたものをお持ちして、次回も、理

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
宮崎委員	<p>念の方はなるべくもう固めておきたいなと思いますし、固まるかなというふうに思ってます。次回、理念固めていただいて、キャッチフレーズの方も、数案という形で、小委員会からこれこれの案でいいのではないかとというふうにさせていただければなというふうに思います。</p>
コンサル外千田氏	<p>サブタイトルも考えた方がええんですよ。</p> <p>そうです、サブタイトルも。逆に言うと、これ1文では言い切れないものを、サブタイトルの中に含ませると言いやすいと思います。そうすると、主の方もっと短くどんとだけ言って、サブタイトルで少し長くということでも可能だと思いますので。</p>
長谷川委員長	<p>じゃあ、ちょっとまとまりましたところで、休憩に入らせてもらいます。5分後、8時5分ぐらいから、また再開させていただきます。</p>
	<p>(休 憩)</p>
長谷川委員長	<p>それでは、新市の都市構造ということについて、ひとつコンサルさんの方から説明をしていただきたいと思います。</p>
コンサル外千田氏	<p>お手元の資料の方に、新市の都市構造についてというページと、その後ろに、養父市の都市構造と事例の方を入れさせていただいております。</p> <p>きょう何をするかといいますと、先ほど、キャッチフレーズとか理念とか、文言の方で将来のまちの姿を語りましたけども、じゃあ、具体的にどのような絵になるのかというのが都市構造でありまして、特に、合併をしますと、2市町が一緒になるということで、やはり立体的なまちづくりの絵を当然描かないといけないということで、そういう意味で、どんなまちになるのかという、この都市の構造を明らかにしていくということです。</p> <p>制定の目的として書いておりますけども、現況とか、これ、これまでの開発の方向性ですとか、各地域の特性とか、あるいは経済的にこう発展していくよということを踏まえて、今後の新市の、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>二つが一緒になりまして、当然、二つがそろって均衡ある発展が必要でしょうし、それに向けて、計画的なまちづくりを進めていく必要があるだろうということで、県の方のビジョンでは、このあたりというは都市近郊区域ですね、多自然の、自然豊かなとさっきキャッチフレーズにも書いてありましたけども、多自然居住区域に位置づけられております。</p> <p>それから、第4次の播磨内陸広域市町村圏計画では、特に土地利用のイメージとしましては、中心部がにぎわい、活性化ゾーン、それからあと、商業・レクリエーション機能の充実とか、自然環境を生かした都市機能の立地促進が望まれるような地域ですよというふうに位置づけられております。</p> <p>あと、西脇市周辺部とか黒田庄町全域の自然環境ですね。そういったゾーンとしての位置づけ。</p> <p>それから、農林業では、都市と交流を図ろうじゃないかと。図るためには、やはり図れるように道の強化とか、そういうようなものもまたうたわれてきているということです。</p> <p>それから、2市町の総合計画の方では、西脇市の方では四つのゾーンに分けております。市街地のゾーンであるとか、田園・緑地ゾーンとか、工場誘導とか、あるいは広域交流ゾーンとかというような。</p> <p>黒田庄町さんの方は、自然環境、田園環境ですね、このあたりは同じなんです。あと、産業交流とか生活交流、公園交流、交流が3つのゾーンを支えてるということでございます。</p> <p>後期計画の方で、さらに三つのゾーンに分けているということで。これ、一応、それぞれが別ではなくて、一体の絵をかいていきましょうということで、次の、養父市の例でございますけども、この黒丸みたいな白黒ですね、皆さん方の、書かれておるのが地域核ですね。今、生活とか拠点とか、主に商業とか業務とか、あるいは公共的施設が集積しているようなところを地域核というこ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>とに、核とするようなところですね。それから、それをお互いにやはりうまく結びつけて連携していきましょうというような大きい、しかも、市町内だけじゃなくて、もっと広い、大きい意味で、外とつながるといふことで、大きい矢印をつくったり。それから、それを補完する意味で小さい地域なんですね、地域内でうまく、人、物、両方そういったものが行き来できるような地域連携軸をつくっていくと。そのあと、核以外にも、ゾーンとして、定住・産業ですとか、あるいは観光・交流ですとか、そういったゾーン分けをこの中でしていくというふうになります。</p> <p>ですから、今回も、少し、皆様と一緒に、ここにちょっと図面がありますので、今回決めたいのは、ここがやはり一番生活の核なので、ここが拠点地域になりますよとか、あるいは、黒田庄町でも、この次の副次核ですかね、生活拠点になりますよと。あるいは、両方、均等に割って考えるのもありますし、役割分担ということもありますので、どこがやはり拠点、核としてやっていくべきなのかという話と、それをつなぐために、どういう道路とか道筋をやっていけばいいのかとか、あるいは、ここは自然環境の保全ゾーン、先ほどありました、たくさんある自然を保全していくゾーン、あるいは、もっとこれは、活用、交流していくゾーンにすべきだとかというようなことを、少し、この中で絵にかいていただいて思っておりますので、よろしく願います。</p> <p>それぞれ、あるいはここが拠点、核だとか、こことここを結ぶべきだとか、あるいはここの中だけでなくて、外と結びつく、あるいはぐるっと回る道路をつくった方がいいとか、そういういろいろあると思いますので、そのあたりは、自由に意見を出していただきたいと思います。</p> <p>それでは、説明を受けましたので、ちょっと腰を上げていただいて、地図の見えるところへ動いていただきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">～ワークショップ中（都市構造）～</p>

発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
長谷川委員長	<p>それでは、今のこのゾーンについてはそういう形でまたまとめ ていただくということでお願いしたいと思います。</p> <p>引き続きまして、これも一緒になってるんですかね、新市まち づくり計画の将来構想部分の中間報告ということでお願いします す。</p>
事務局長	<p>それでは、前回に引き続きまして、前半の継続議案となります 市町の将来構想部分について、その根幹となる形で将来像と基本 理念、それから都市構造について、いろいろ協議をいただき、事 務局でとりあえず取りでまとめさせていただいて、3月19日の 協議会で中間報告をさせていただきます。</p> <p>内容につきましては、資料2に配布しております計画書素案に、 きょういろいろなご意見をいただきました。それを踏まえまして 中間報告とさせていただきます。</p> <p>したがいまして、次の3月の委員会では、合併の必要性、計画 策定方針、市の概要、それから、新市の主要課題として内容を確 認いただくとともに、きょう、基本理念、将来像、都市構造、こ れを確認いただきました。これで協議していただいて、次回で、 計画素案の前半部分を締めくりたいと考えております。</p> <p>また、そのうち、新市の将来像につきましては、きょうも若干 出ておりましたけれども、この計画の中で、前半部分では大変重 要な部分でございますので、次回の委員会の中で、事務局案とし ましては、一つに絞らずに複数の候補を出していただいて、協議 会の中でやっていただいたらどうかというのが事務局案でござ います。若干、時間をいただいて、どういう方法がいいのか、委 員さん方に、ここで決めていただくのがいいのかはお任せしま すが、事務局案としましては、とりあえず、一つの計画の前半部 分のまちづくり計画の部分ですので、委員さん方協議いただいた部 分を全協議会の委員さん方で、投票なりやっていたらどうか一つに絞 っていたらいいのではないかなという案を持っています。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>事務局からは以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>他にないですか、なければ、きょうの会合はこれで一応終わらせていただきたいと思います。</p> <p>次回は、3月15日の月曜日、午後6時半から、この場所で開かせていただきます。予定どおり、次の法定協の場では、これの中間報告という形で出さざるを得ませんので、あと、キャッチフレーズ等については、次回、きょう結論づける、ここの小委員会としてのね。そういう形でまたお願いしたいと思いますので、非常にお手数かけますけども、ひとつよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>本日は、どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">（ 閉 会 午 後 9 時 0 1 分 ）</p>